

# ヨハネ福音書の文学的な並行構造分析 (5:-12:)

5章から6章：荒野での導き（さばきといのち） 7章から8章：仮庵に住む（父から来て、父に帰る） 9章から10章：カナンでの戦い（パリサイ人との戦い） 11章から12章：約束の地の相続（エルアザルとヨシュアの死）

ヨハネ福音書の文学的な並行構造分析において、各章が異なるテーマと旧約聖書の出来事に対応していることを見ていきましょう。

## 5章から6章：荒野での導き（さばきといのち）

### 旧約聖書の背景

- **荒野での導き:** 出エジプト記や民数記に記されている、イスラエルの民がエジプトから脱出し、荒野を40年間さまよった期間。
- **さばきといのち:** この期間、神はイスラエルの民を試し、彼らにマナ（天からのパン）を与えて養いました。また、民が神に対して不平を言うたびに、神のさばきが下されました。

### ヨハネ福音書の対応部分

- **ヨハネ5章:** ベテスダの池での病人の癒し、そしてこの癒しを通じてイエスが安息日の主であることを示します。この癒しと議論は、さばきといのちに関連します。
- **ヨハネ6章:** イエスが5000人をパンと魚で養う奇跡を行い、さらに「私はいのちのパンである」と教えます。これは旧約のマナの奇跡と直接的に対応しており、神が荒野で民を養ったことを象徴しています。

## 7章から8章：仮庵に住む（父から来て、父に帰る）

### 旧約聖書の背景

- **仮庵祭:** レビ記23章で定められた祭りで、イスラエルの民が荒野で仮庵（臨時の住居）に住んだことを記念します。この祭りは神の保護と導きを象徴します。
- **父から来て、父に帰る:** イエスの使命と神との関係を表します。

### ヨハネ福音書の対応部分

- **ヨハネ7章:** 仮庵祭の最中にイエスはエルサレムに登り、神の霊について教えます。ここでイエスは自分が「父から来た」ことを明確にし、神との密接な関係を強調します。
- **ヨハネ8章:** イエスが「世の光」であることを宣言し、さらにアブラハムの前から存在することを述べることで、自身の神聖を明らかにします。

## 9章から10章：カナンでの戦い（パリサイ人との戦い）

### 旧約聖書の背景

- **カナンでの戦い:** ヨシュア記に記されている、イスラエルの民が約束の地カナンを征服する戦い。

### ヨハネ福音書の対応部分

- **ヨハネ9章:** 生まれつき盲人の癒し。この奇跡により、イエスがメシアであることが示されますが、これに対してパリサイ人たちがイエスに対抗します。

- **ヨハネ10章:** 善き羊飼いの比喻を通じて、イエスは自分が神の真の導き手であることを教えます。ここでパリサイ人たちとの対立がさらに深まります。

## 11章から12章：約束の地の相続（エルアザルとヨシュアの死）

### 旧約聖書の背景

- **約束の地の相続:** ヨシュア記の終わりで、イスラエルの民が約束の地を相続する場面。また、ヨシュアと祭司エルアザルの死。

### ヨハネ福音書の対応部分

- **ヨハネ11章:** ラザロの死と復活。イエスがラザロを死から復活させることで、彼がいのちの主であることを示します。
- **ヨハネ12章:** イエスがベタニアでラザロの家を訪れ、そしてエルサレムに入城する場面。これはイエスがいのちの王として約束の地を象徴的に受け取る瞬間と見ることができます。

これらの並行構造は、ヨハネ福音書が旧約聖書の物語と密接に関連していることを示しており、イエスの生涯と使命が旧約の出来事の成就であることを強調しています。

**モーセとヨシュアが、しるしと不思議と力あるわざと、律法の教えによって、民を牧したように、主イエスは、しるしと不思議と力あるわざと、神のことばによって、新しい民を作り上げます。**

ヨハネ福音書を通して、イエスが旧約聖書の人物や出来事を成就し、新しい神の民を築き上げる様子は明確に示されています。モーセとヨシュアの役割とイエスの役割の比較を以下に詳しく分析していきます。

## モーセとヨシュアの役割

### モーセ

- **しるしと不思議:** エジプトの十災、紅海の分裂、マナの供給など、神の力を示す多くの奇跡を行いました。
- **律法の教え:** シナイ山で十戒を含む律法を神から受け取り、それをイスラエルの民に教えました。
- **民の導き:** エジプトからの脱出を指導し、荒野で40年間民を導きました。

### ヨシュア

- **しるしと不思議:** ヨルダン川の渡河、エリコの城壁の崩壊などの奇跡を通じて神の力を示しました。
- **約束の地への導き:** イスラエルの民をカナンの地に導き、その地を征服して分配しました。
- **律法の継承:** モーセの教えを引き継ぎ、民が神の律法に従うよう指導しました。

## イエスの役割

### しるしと不思議

- **奇跡:** 水をぶどう酒に変える（ヨハネ2:1-11）、5000人の給食（ヨハネ6:1-14）、ラザロの復活（ヨハネ11:1-44）など、多くの奇跡を行い、神の力を示しました。

- **癒し:** 盲人の癒し（ヨハネ9:1-12）、病人の癒し（ヨハネ5:1-9）などを通じて、人々の肉体的および精神的な癒しをもたらしました。

## 神のことば

- **教え:** 山上の垂訓（マタイ5-7章）、ヨハネ福音書の中での「いのちのパン」（ヨハネ6:35）、「世の光」（ヨハネ8:12）など、神の国の教えを伝えました。
- **新しい契約:** 最後の晩餐で、パンとぶどう酒を通じて新しい契約を示し、十字架での死と復活を通じてその契約を成就しました。

## 新しい民の形成

- **弟子たち:** 12人の弟子を選び、彼らを通じて新しい教会の基礎を築きました。
- **教会の誕生:** 聖霊降臨（使徒2章）を通じて、イエスを信じる者たちに聖霊を注ぎ、新しい神の民としての教会を誕生させました。
- **全世界への伝道:** 弟子たちに大宣教命令（マタイ28:19-20）を与え、全世界に福音を伝える使命を託しました。

## 比較と成就

- **モーセとイエス:** モーセがイスラエルの民をエジプトから解放し、律法を与えたように、イエスは罪と死から解放し、新しい律法（愛と信仰）を与えました。
- **ヨシュアとイエス:** ヨシュアが約束の地に民を導いたように、イエスは神の国への道を開き、永遠のいのちをもたらしました。

イエスの働きは、モーセとヨシュアの働きを超越し、それを成就するものであり、新しい神の民である教会を築き上げるものでした。イエスのしるしと不思議、そして神のことばは、新しい契約の下での神の民の形成において中心的な役割を果たしています。

## エリヤとエリシャも並行していると思われます

確かに、エリヤとエリシャの物語もモーセとヨシュアの物語と並行し、イエスの働きを理解する上で重要な鍵となります。以下に、エリヤとエリシャの役割とその象徴的な意味を見ていきましょう。

## エリヤとエリシャの役割

### エリヤ

- **奇跡とするし:**
  - カルメル山でのバアルの預言者たちとの対決（1列王18:20-40）。
  - 干ばつの予言と雨の回復（1列王17:1, 18:41-45）。
  - やもめの息子の復活（1列王17:17-24）。
- **神の言葉の預言者:**
  - イスラエルの不信仰と偶像崇拜に対する厳しい警告。
  - 神の真実を示し、民を悔い改めに導く役割。
- **後継者の任命:**
  - エリシャを自分の後継者として任命し（1列王19:19-21）、預言者の使命を引き継がせる。

## エリシャ

- **奇跡としるし:**
  - ナアマンの癒し（2列王5:1-14）。
  - 死者の復活（2列王4:32-37）。
  - 食物の増加（2列王4:42-44）。
- **神の言葉の預言者:**
  - 神の言葉を通じてイスラエルを導き、戦争や国の危機に対処するための預言を行う。
  - エリヤの霊の二倍の力を求め、強力な預言者として活動。

## イエスとの並行性

### しるしと不思議

- **エリヤとエリシャの奇跡:** 両者ともに数多くの奇跡を行い、神の力を示しました。イエスも同様に奇跡を通じて神の力を示し、人々を癒し、食物を増やし、死者を復活させました。
- **イエスの奇跡:** 水をぶどう酒に変える（ヨハネ2:1-11）、5000人の給食（ヨハネ6:1-14）、ラザロの復活（ヨハネ11:1-44）など。

### 神の言葉

- **預言者の役割:** エリヤとエリシャが神の言葉を預言し、民を導いたように、イエスも神の言葉を伝え、新しい契約を教えました。
- **教え:** 山上の垂訓（マタイ5-7章）、ヨハネ福音書でのイエスの教えなど。

### 後継者の任命

- **エリヤとエリシャ:** エリヤがエリシャを後継者として任命し、彼に自分の霊の二倍を求めさせたように、イエスも弟子たちを任命し、聖霊を与えることで新しい民を形成しました。
- **聖霊降臨:** 使徒2章での聖霊降臨により、弟子たちは力を受けて福音を宣べ伝え、教会を築き上げました。

## 比較と成就

- **エリヤとイエス:** エリヤが偶像崇拜に対する厳しい警告を発し、奇跡を通じて神の力を示したように、イエスも宗教的指導者たちとの対立を通じて神の真実を示し、奇跡を行いました。
- **エリシャとイエス:** エリシャがエリヤの後継者としてその使命を引き継ぎ、さらなる奇跡を行ったように、イエスは弟子たちに聖霊を注ぎ、彼らを通じて神の働きを続けました。

エリヤとエリシャの物語は、モーセとヨシュアの物語と並行し、イエスの働きの象徴的な前兆と見なすことができます。これにより、イエスが旧約の預言者たちの使命を成就し、新しい神の民を形成するために来られたことが明確になります。